



基本理念
私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院とすることを目指します。

独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会 / 代表●先山正二 / 住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号 / 電話 088-844-3111 / FAX 088-843-6385

新型コロナの今

一次なる段階に向けて



NHO 高知病院 院長
先山 正二

このコロナ禍に際しまして、これまで数々の団体、組織、企業などから、当院に対しまして感染防護資材、消毒薬、飲料水などのご支援をいただきました。この場をかりて改めて御礼と感謝申し上げます。こうしたご支援をいただき、職員一同、社会からの応援に大変勇気付けられました。ご了解いただきました支援者の方は、そのお名前を当院のホームページに掲載させていただきます。

新型コロナに係る緊急事態宣言解除が5月25日、都道府県の県境を超える移動制限解除が6月19日に行われ、社会は“新たな日常”を意識しつつ、平静を取り戻しつつありますが、7月に入り東京都を中心に新型コロナの新規感染者が徐々に増えてきており、第二波の到来が懸念されます。

今年の秋から冬にかけては、新型コロナの第二波の到来や、従来の風邪、インフルエンザ罹患者の増加に伴う、新型コロナ疑い症例の増加への対応が課題となると考えられます。従って、当院においても発熱外来や救急受け入れ体制などに関して、より一層の対策を講じるべく、各職種が協力して対応策を練っています。

4月から6月の病院の収益は、当院においても、ご多聞に漏れず大幅な減収となりましたが、このコロナ

禍において、患者さんや職員に目立った人的被害を出さず、関係諸機関と協力して地域医療における当院の本分を果たせたことに、まずは一息ついていきます。病院の責任者として、関係諸機関、関係者並びに当院の職員の協力とお力添えに大変感謝しております。

さあ、これから新型コロナに対する次の段階へ向けた取り組みが始まります。新興感染症であり、医療のみならず社会情勢を含めて、今後どうなるか、なかなか予想し難い点は多々ありますが、この数ヶ月で私達も、病気に対する情報、経験、検査方法（PCR、迅速抗原検査、抗体検査など）を得ました。また、国、高知県、高知市ならびに国立病院機構よりの財的、物的支援も行われます。ワクチンや、より有効な治療薬がもたらされ、このウイルスが今のような脅威でなくなる時まで、皆で知恵をしまり、汗をかいて、一丸となり協力していこうではありませんか。



新幹部職員紹介

統括診療部長 鳥海 信一

6月1日付けで統括診療部長を拝命いたしました鳥海信一（とりうみ しんいち）と申します。

1992年から2000年までは、高知市立市民病院に勤務していました。2000年10月に新病院になった時に、麻酔科が新設され、赴任しました。20年近く、手術の麻酔を主な仕事として、手術室の運営や、集中治療室での診療やその運営に関わってきました。

麻酔科医としての仕事に加え、統括診療部長としても、病院の発展のために精一杯尽くす所存です。これからもよろしくお願いたします。



診療部長 岩原 義人

この度、令和2年6月1日付けで総合診療部長を拝命いたしました岩原 義人（いわはら よしひと）と申します。

平成12年10月1日 統合新病院「国立高知病院」が開院した際に内科医長として着任いたしました。現在主に血液疾患の診療に従事しており、造血器腫瘍、骨髄異形成症候群や難治性血液疾患、その他各種貧血等の診療を行っています。また、平成17年よりICTのメンバーとして、感染管理に携わってまいりました。

どうしても話題が「コロナ」に行ってしまうのですが、昨今流行の新型コロナウイルスは、病院の標準予防策のレベルを試しているのだと言われてます。どの診療科、どの部門も「普

通にやっている」感染対策がおろそかになれば、新型コロナウイルスの病院内感染という事態を引き起こしてしまうでしょう。しかしこの災いは、当院の感染対策をさらにレベルアップさせ、インフルエンザや耐性菌の院内感染をも一緒に減少させてしまふよい機会となるのではないのでしょうか。コロナのつきつけた課題を乗り越えるため一丸となって「コロナを意識しなくてもコロナを防げる」感染対策を確実にやっていきましょう。今後ともご理解とご協力を賜りたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



新医師紹介

麻酔科医師 江渕 慧悟

5月から赴任してまいりました麻酔科医の江渕 慧悟（えぶち けいご）と申します。高知県土佐市出身、学生時代は自転車が高知市内の高校に通っており、国立高知病院を横目に見ながら日々過ごしておりましたので自身が勤務することになり感慨深く思います。

前職は横浜市立大学附属市民総合医療センターで一般麻酔、小児麻酔、産科麻酔、心臓麻酔と経験を積んでおります。

手術麻酔はチームワークです。執刀医や看護師、放射線技師、臨床検査技師を含めたメディカルスタッフと円滑にコミュニケーションを取りながら患者さんの周術期の質の向上に少しでも貢献できればと思います。安全第一に、少しでも患者さんに寄り添った医療ができるよう努力してまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。

職員の異動

4月2日付～7月1日付の
人事異動（常勤）



採用

- ▶ R2.5.1
臨床工学技士 白石 純也
- ▶ R2.5.13
麻酔科医師 江渕 慧悟

昇任

- ▶ H2.6.1
統括診療部長 鳥海 信一
- 診療部長 岩原 義人
- 外科医長 山崎 誠司

退職

- ▶ H2.6.1
助産師 土居 瑞稀
- ▶ H2.6.30
看護師 山本由美子
- 作業療法士 山本 竜也

ご存知ですか?当院にはがん相談窓口があります

がん相談支援センターの 活動をご紹介します



地域医療連携室・がん相談支援センター
がん性疼痛看護認定看護師
副看護師長 長浦 英世

高知県では「都道府県がん診療連携拠点病院」である高知大学医学部附属病院を中心に3つの地域がん診療拠点病院があります。当院は高知赤十字病院と共にそれに準ずる病院として平成23年よりがん診療連携推進病院に指定されました。当方では地域医療連携室にがん相談支援センターを併設し、がん患者さん及びご家族の支援を行っています。

がん相談支援センターでの主な活動は「がん相談」です。平成23年度より相談業務を開始し、様々な相談に対応しています。当院のがん相談の内容で多いのは「積極的ながん治療を続けるか、やめるか」についてです。頑張っただん治療を継続されてきた患者さんが、その後のご自身の人生を考え

るための必要な情報を丁寧に提供すること、また、気持ちの揺れ動きに寄り添うことを常に心がけています。必要時は医師の病状説明に同席し、その後の患者さんやご家族のケアに努めています。

その他の業務として、「がんサロン」があります。毎月第3木曜日14:00から当院7階の見晴らしのいいデイルームでミニレクチャーを実施しています。レクチャー後は講師と共に栄養課から提供された栄養補助食品やお茶を飲みながらのQ & Aコーナーや談話コーナーがあります。多いときで12名ほどのご参加を頂いております。今年度はCOVID19の影響下で開催を見合わせておりますが、再開の折はホームページ上、又は、ポスターにてご案内させていただきます。

皆さん、当院正面玄関ホール右上を見上げると、手作りの「患者相談窓口」という表示が目に入るかと思います。入院中の患者さんやご家族はもちろん、外来通院中の患者さん、また当院受診歴のない方でも、地域の皆さんに解放されていますのでお気軽にお声をお掛け下さい。

乳腺科特集



乳がんについて

外科医長 本田 純子

日本の最新データによると、日本女性が罹る頻度が高いがんは乳がんで、生涯に乳がんにかかる確率は10.2%、女性の10人に1人が乳がんにかかっているという状況です。がんと言われると不治の病を想像し、もうすぐ死んでしまうのではと心配される方も少なくありません。しかし、乳がんと診断され5年後に生存している人の割合（5年相対生存率）は92.3%、10年相対生存率は79.3%です。100%に近いほど治療で命を救えるがんといえるので、決して低い数字ではありません。もちろん、早期発見できればこの相対生存率はさらに数値は高くなり、治る可能性は高くなります。

乳がんの早期発見のために、日本人女性はもっと自分自身に関心を持つことが必要かもしれません。家族や家庭、仕事

を優先し、つつい自分の身体のことを後回しになっていませんか。髪型や顔のしわを気にかけるように、自分の乳房にもう少し関心を持つことが、早期発見の大事な手掛かりになります。乳がんは自分で気付くことが出来るがんでもあります。

定期的に自分の乳房を見て触って、今どんな状態か意識すること。お風呂に入った時にも、ほんの少し思い出してみてください。今まで気づかなかったけど、乳房の一部が凹んでいる、腫れている、しこりみたいを感じる部分がある、乳頭から血性の分泌物が出ている。そんな時は、すぐに医師に相談しましょう。40歳になったら、2年毎の乳がん検診（マンモグラフィ検診）を受けて画像上の乳房の状態を確認します。このように、自分の乳房がどのような状態か知っておくことをプレストアウェアネス（Breast awareness）といいます。

新型コロナウイルス感染症の影響で病院受診を控える方も多いと思います。そんな時だからこそ、感染症から身を守ると同時に、乳がんから身を守るため自分自身で出来るプレストアウェアネスを始めてみませんか。



マンモグラフィについて

放射線技師 鴨田 佑美

診療放射線技師の鴨田です。今回乳腺科特集ということで、放射線科からマンモグラフィについて簡単に説明します。

マンモグラフィは、視触診、乳腺超音波とともに乳腺疾患の存在診断および描出された病変の特徴から良悪性の鑑別に用いられ、乳腺疾患に欠かすことのできない、最も有効な画像診断の1つです。

今回はマンモグラフィの撮影方法や乳房を圧迫する理由、放射線科での取り組みについて簡単に説明します。

【マンモグラフィの撮影方法】

マンモグラフィの撮影方法には、MLO撮影とCC撮影の2種類があります。

MLO撮影は斜め横から乳房をはさんで撮影します。この撮影方法は乳房の全体を一番広く画像にすることができます。

CC撮影はMLOを補充する撮影法で、MLO撮影では

画像にしづらい乳房内側を画像にすることができます。

【乳房を圧迫する理由】

マンモグラフィでは、乳房を圧迫して撮影します。乳房を圧迫する理由は以下の通りです。

- 乳腺組織の重なりを分離し、乳房全体が観察できる高画質な写真を得ることができる
- 押さえることで乳房を固定し、動きによるブレをなくす
- 乳房への放射線被曝を低減する

【放射線科での取り組み】

放射線科での取り組みとしては、昨年度の健康フェスタにて先生のご協力のもと10名の無料マンモグラフィ検診を行いました。そのほかにも、啓発ポスターを掲示したり啓発リーフレットを配布するなどのピンクリボン運動（乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーン）を行っています。

今後も患者さんに安心して検査を受けていただけるよう努めてまいります。

乳腺細胞診検査

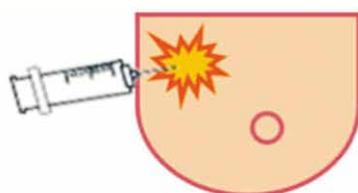


検査技師
青野 早姫

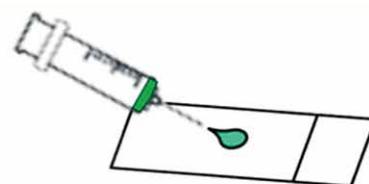
乳腺のしこりの検査では、精密検査として細胞診や組織診(生検)が行われます。これらの精密検査は、超音波やマンモグラフィなどの画像診断で癌が疑われる場合に、病変部の細胞を採取し、採取した細胞を顕微鏡で調べ、癌細胞か否かを診断する検査です。細胞診検査にはいくつかの種類があります。

① 穿刺吸引細胞診

しこりなどの病変部に細い針を刺し、吸引した細胞を調べます。



超音波で「しこり」を見ながら針を刺します



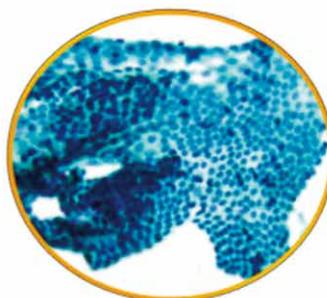
ガラスに細胞を塗抹します

② 分泌物細胞診

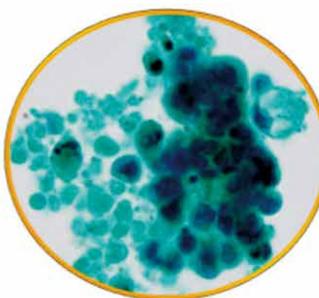
乳頭から出ている分泌物を採取し、分泌物の中にある細胞を調べます。

③ 擦過細胞診

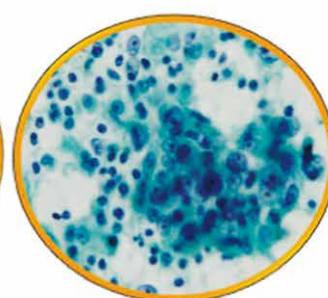
乳頭びらん(乳頭部とその周辺が湿疹のようにただれている状態)がある場合、乳頭や付近の皮膚のただれた箇所を擦過し、スライドガラスに塗布して細胞を調べます。



乳腺穿刺：良性細胞



乳腺穿刺：腺癌



乳汁：腺癌

《細胞診の報告様式》

検体不適性 (inadequate)

検体適正 (adequate)

正常あるいは良性 (normal or benign) / 鑑別困難 (indeterminate)

悪性の疑い (suspicious for malignancy) / 悪性 (malignant)

細胞診の結果は、『検体適正』と『検体不適性』に分けられ、『検体適正』は上記の4段階で判定します。これらの判定は、日本臨床細胞学会認定の専門医と、細胞検査士が連携して行っています。

当院の2019年度の乳腺細胞診検査の件数は下記の通りです。

	正常あるいは良性	鑑別困難	悪性の疑い	悪性	検体不適性	計
件数	162	34	13	57	61	327

乳腺細胞診の件数は327件、そのうち検体不適性は61件で19%でした。検体不適性の細胞診総数に占める割合は10%以下が望ましく、不適正の要因については十分量の細胞が採取されていない、細胞の塗抹不良や固定不良などがあり、臨床や検査側のいずれにも、その要因が影響します。当院ではこれらの不適正例を減じる目的で、臨床検査技師(細胞検査士)が検体採取場所へ出向き検体採取の補助をしています。今後も適正な標本作製し、正診率の向上に努めてまいります。

2年目をむかえて



看護師
森本 真生

去年、入職しあつという間に1年が経ち2年目をむかえました。看護師、社会人として入職後すぐは職場環境に慣れることで精一杯でした。看護学校の実習では、学んだ事のない重症心身障害児(者)病棟に配属となりました。最初は先輩とともに、看護技術やケアなど学び、看護師として1人立ち出来ることを目指して日々頑張りました。3ヵ月後には夜勤が始まり、受け持ちをする患者さんが増え不安もありましたが、看護師として患者さんの生命をあずかる責任感が増えました。1年間、重症心身障害児(者)看護と向き合い、言語的コミュニケーションだけではなく、表情やしぐさなどの非言語的コミュニケーションの大切さを実感する毎日です。イベントなどに参加した患者さんの笑顔を見るたびに、自分自身も嬉しく思います。

病棟の先輩看護師は優しい人達ばかりで、丁寧に1つずつ分からないことなど多くのことを教えて頂きました。プリセプターナースやサポートナースには日々の看護の中で様々な相談にのっていただきお世話になり、ここまで成長できたと感じています。

まだ知識や技術ともに未熟なところは多くありますが、根拠をもった看護ができるよう頑張っていきたいと思います。今後も患者さんやご家族の気持ちに寄り添える看護を目指して取り組んでいきたいです。

看護師になって 2年目になりました!



看護師
中内 美佑

私は現在4階南病棟で助産師として勤務しています。入職した1年目は、6階南病棟で看護師として勤務していました。6階南病棟は呼吸器内科の病棟です。呼吸器疾患のみならず、化学療法やターミナルでの看護を経験してきました。高齢の患者さんが多く、身体的・精神的苦痛を抱えて過ごす患者さんが安楽に過ごせるための看護を考える機会も多くありました。

患者さんの状態は一定ではなく、日々変化しており、観察力やコミュニケーション能力を鍛えられました。そして、自らの状態の変化に戸惑う患者さんやご家族へ寄り添い、思いを尊重した関りの大切さを学ぶことができました。私は、今年度より、看護の対象者が周産期の母子へと変わり、分からないこともたくさんありましたが、先輩方からの

温かいご指導や助言を頂き、チームの一員としてひたむきに頑張っています。

2年目として業務が拡大する中で、一人で行うことが増えると共に、自らの看護に対する責任も増えていることを実感しています。今後は、統合的なアセスメントにより母子相互関係の構築や退院後の生活の支援まで考えていけるようになりたいと考えています。そして、不足している知識を自己研鑽し、常に考える姿勢を忘れず、母子が安全・安楽に過ごせるよう支援を行うよう努めます。

栄養管理室だより

レシピ紹介♪



栄養管理室長代理
永野 由香里

今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、屋外でもマスクをすることが多く例年に比べてより暑さを感じる夏となっています。エアコンの効いた屋内と暑い屋外との温度差によって体力を消耗し食欲低下やだるさを引き起こしてしまったり、熱帯夜で寝つきが悪くなるなどして眠りが浅くなり疲れが取れないと感じることもあるのではないのでしょうか。そこで今回は暑い夏を乗り切るための簡単レシピをご紹介します。バランスのとれたお食事で体調を崩しやすい季節の変わり目や暑い夏を乗り切りましょう。

●切干大根サラダ



- ①切干大根は水に戻し、しっかりと水分をしぼっておく。
- ②鶏むね肉はゆでて適当な大きさに切っておく。
- ③きゅうりは輪切りにして塩もみしておく。
- ④コーン、線切りした人参はゆでておく。
- ⑤1～4の材料をマヨネーズで和え、塩こしょうで味を整える。

《1人分の栄養価 エネルギー:107kcal、たんぱく質:4.0g》

【材料】(1人分)

●切干大根…………… 5g	●鶏むね肉 ……15g
●きゅうり ……10g	●人参 ……5g
●コーン…………… 3g	●塩こしょう…………少々
●マヨネーズ……………10g	

切干大根にはビタミンB1、カルシウム、鉄分、食物繊維などが豊富で、鶏むね肉には蛋白質やビタミン類が含まれており、疲れにくい体を作るとともに便秘解消にも効果が期待できます。ノンオイルドレッシングを使用して低カロリーに仕上げることがもできますよ♪
※ノンオイルドレッシング10gを使用した時のエネルギーは45kcalになります。

●ヨーグルトムース (キウイソース添え)



- ①ボウルに生クリームと砂糖を入れしっかりと泡立てる。
- ②耐熱容器に分量の水と粉ゼラチンを入れて混ぜ1～2分おいてから電子レンジ(500W)に20秒かける。
- ③別のボウルにヨーグルト、砂糖、レモン果汁を入れてよく混ぜ、1を加えて全体に混ぜる。
- ④容器に3を流し、冷蔵庫に2時間以上入れて冷やし固める。
- ⑤鍋にゴールドキウイと砂糖を入れ火にかけ煮詰める。
- ⑥4をすくいとって器に盛り、冷ましたキウイソースをかける。

《1人分の栄養価 エネルギー:115kcal、たんぱく質:2.0g》

【材料】(10人分)

●プレーンヨーグルト………… 400ml	●砂糖 …… 大さじ2
●レモン果汁 …… 大さじ2	●砂糖 …… 大さじ2
●生クリーム …… 200ml	●水 …… 大さじ3
●粉ゼラチン…………… 10g	(キウイソース)
●ゴールドキウイ …… 1個	●砂糖 …… 小さじ1

発酵食品であるヨーグルトが腸内の悪玉菌を減らし腸内環境を良好に保ちます。またゴールドキウイには食物繊維や、抗酸化作用を持つビタミンCも含まれています。さっぱりした味わいは今の季節にピッタリ。フルーツソースは小夏やブルーベリーなどお好みでどうぞ♪

※作りやすい分量を載せていますので適宜調整してください。

感染管理室だより

手指衛生は感染対策の基本



副看護師長
河村 ひとみ

感染を防ぐ方法は、感染源を除去すること、感染経路を遮断すること、自身の感染防御能を高めることなどがあります。その中でも、手指衛生は感染経路の遮断につながる最も簡単で効果的な感染防止対策とされています。

新型コロナウイルスを例にあげると、感染者が咳やくしゃみをしたときに口や鼻から飛び出す飛沫を直接吸い込むことや、ウイルスが付着している手指が眼、鼻、口の粘膜に触れることによって感染します。人は無意識のうちに顔を触っており、その中でも目、鼻、口などの粘膜に触れることはとても多いとされています。そのため、咳エチケットや手指衛生の実施がとても重要な感染対策となります。

手指衛生の方法は、流水と石鹼による手洗いとアルコール手指消毒薬による手指消毒があります。どちらも手指に付着した微生物を取り除いて、手指を清潔にすることができます。医療現場では感染対策として手指衛生を行う際は、手指に汚れがない時はアルコール手指消毒薬による手指消毒、手指に汚れがある時

は流水と石鹼による手洗いという風に使い分けることが推奨されています。感染経路を断つためには、手指が粘膜に触れる前に手をきれいにしておく必要がありますが、アルコール消毒薬は手指に付着した微生物に対して短時間で殺菌効果があり、携帯のアルコール手指消毒薬を持っていれば、いつでも手指消毒することができます。石鹼と水道水での手洗いの場合は毎回手洗い場まで移動しなくてはならず、頻繁に行うことが難しいことがあります。アルコール消毒薬による手指消毒は効果的ですが、病原体によってはアルコールが効きにくいものがあるので注意が必要です。ノロウイルスはエンペロープという脂質性の膜を持たないため、アルコールが効きにくいです。クロストリジウム・ディフィシルは、アルコール存在下では「芽胞」という厚い殻を形成し、アルコールは効きません。

医療現場だけでなく日常生活においても、手洗い（手指消毒）を行うことで、自身の感染予防だけでなく、見えないウイルスが付着した手で他の環境や人に触ることを防ぎ感染の伝播予防につながります。



医療安全管理室だより

医療安全の取り組み紹介

医療安全管理室係長
山本 三恵

医療事故を起こさないための安全対策には、未然に防ぐ（事故が起こらないための予防策を実践）、同じ事故の発生を予防する（発生してしまった事故の原因を分析し、改善策を立て、実践することで予防を図る）の2通りがあります。今回は前者の事故を未然に防ぐ活動として、転倒・転落に関する内容を報告します。

当院の2019年度のインシデント報告数のうち転倒・転落に関するものは23%を占めていました。転倒・転落は骨折や脳障害など大きな事故につながる危険性が高いことから、医療安全管理室会では10年以上前から転倒・転落予防に向けて活動しています。具体的には、ベッド周囲の環境を患者の精神状態や身体状況に合わせること。また、どのスタッフが対応しても同じ環境を提供できることを目指し、『ベッドまわりでの転倒・転落防止対策フローチャート』を作成し活用をすすめました。そして、フローチャートが適切に活用され、記録できているかの評価・指導を行うために転倒・転落防止ラウンドを実施しました。しかし転倒・転落件数はほとんど変化がありませんでした。

その理由は①患者の年齢層が上がったこと②入院患者のうち、70歳以上の割合は2017年度より52.5

%、54.5%、56.8%と年々増加しており、年齢層が上がっている。また、認知症患者が増加している（転倒・転落インシデントの原因が認知障害と推測された件数は53件（全体の23%）。

認知症のある高齢者はたびたび転倒されます。脳神経障害や加齢などの影響から、歩行や移動などの能力が低下しているだけでなく、認知症の中核症状（認知機能障害）のため、移動に際して介助の必要性を説明しても、勝手に歩いてしまったり、空間の位置関係が理解できなかったり、転倒の危険を判断する能力や注意力が低下しているため、認知症のない同年代の高齢者と比べると、著しく転びやすい状況にあるといわれています。

そこで、医療安全管理室会の転倒・転落事故防止グループでは、認知障害のある患者に焦点を当て、取り組み（事故の原因を考え、予防策を立案・実践）します。特に、今年度から、認知症ケア認定看護師が活動を始め、認知症ケア委員会も活気を帯びております。それに乗じて、医療安全も微力ながら共に活動を行い、認知症患者の安全を確保し、安心できる生活環境の提供に務めていきたいと思っています。



看護学校だより

看護学校における新型コロナウイルスの
感染対策への取り組み看護学校
今治 涼子

4月以降、新型コロナウイルスの感染拡大の深刻化に伴い、本校では4月8日から5月14日まで臨時休校（自宅学習）となり、4月15日からは本格的にOL授業を開始しました。教員も慣れないOLシステムの操作に悪戦苦闘し、後送りになった技術教育（校内実習）をどうするか、臨地実習から学内実習への方略変更等に随分と悩みました。

しかし、5月18日からは登校開始になり、学校内も一気に活気づきました。講義は、今でも一部の外部講師によるOL授業をしながら、教室の教卓の前をシートで隔てて対面授業をしています。また、校内実習は実習室のベッド数を減らし、廊下にベッドを配置し、密を避けるようにして技術練習を行っています。

臨地実習は、5月7日から学内実習として、事例展開やシミュレーションを工夫しながら進めていましたが、18日から臨地での実習が可能となりました。受入れ準備を整えてくださった臨床スタッフの方々、受け持つことを承諾してくださった患者さんに感謝しつつ、また実習できる喜びを感じながら実習に取り組んでいるところです。

学校生活では、マスク、手洗いはもちろん休憩時間毎の体温測定、次亜塩素酸ナトリウム消毒液を使用した学内の清掃活動などの基本的な感染予防対策に加え、ポスター掲示や校内の床に印をつけてソーシャルディスタンスを保てるようにしています。

学生達も学生自治会活動やQC活動の集会などで集まる時は、席の間隔をあける等環境を整えるようになりました。看護学生として、「感染しない、感染させない」という意識を持ち、学校生活を送れるよう、今後も支援していきたいと考えています。



給湯室は電子レンジ
使用可。ただし待っている時
ソーシャルディスタンスを保つこと。

- ×「密接・密集・密閉」×
- ①ホールでの混み具合を意識し、お互いに必要な間隔をとり合おう
 - ②大声出さない、隣近で話さない
自主的に“新スタイル”を考え、行動を!!



地域医療連携室だより

入院前支援の充実に向けて



看護師長
西本 美香

患者さんが住み慣れた地域でその人らしく療養生活をするために、入院前からの状態を把握し、退院後の生活を見据えた支援を強化していくことが求められています。当院は、2018年度診療報酬の改定で「入院時支援加算1」が新設された際に、入院支援担当者を配置し入院時支援を開始しました。入院時支援は、呼吸器外科の入院予定患者さんを対象に開始し、外科・整形外科と段階的に広げ、今年の6月からは呼吸器内科や消化器内科の患者さんへの支援も開始しました。入院時支援は、「褥瘡に関する危険因子の評価」「栄養状態の評価」「服薬中の薬剤の確認」など、多職種と共同して支援しています。特に、栄養指導は、外来の時点から管理栄養士が指導できるようになりました。管理栄養士は患者と面談を行い、栄養状態の評価を行うとともに、食物アレルギー等の情報収集を行うことで、入院後の食事提供にそなえます。また、入院当初から患者さんの嗜好や状態に合わせた食事形態や治療食の提供が行え、早期に栄養介入ができ患者満足にも繋がっています。

入院時支援担当者は、入院パンフレットに従って入院生活の説明や、転倒リスク、限度額申請等の説明を行い、指導内容を療養支援計画書に記載

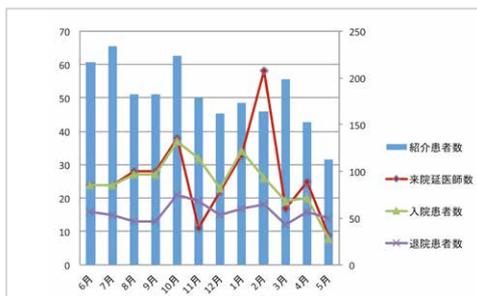
し患者さんに提示しています。それにより、高額療養費制度や限度額適用認定証の説明、栄養指導、休薬指導など患者さんへの指導内容が療養支援計画書で確認できるようになりました。患者さんからは「高額療養費制度についてもう一度、教えてもらいたい。」や「入院中の生活について、再度教えてほしい。」と電話があり、質問事項や不安な思いを、入院時支援担当者に問い合わせやすくなったとの意見も聞かれます。

今後は、入院時の患者のアセスメントを強化し、早期に認知症ケアチームや、緩和ケアチーム等の連携強化が行えるように取り組んでいきたいと思えます。

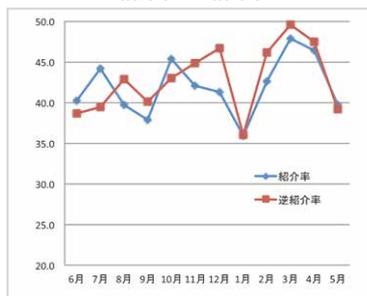


高知病院地域連携等概況

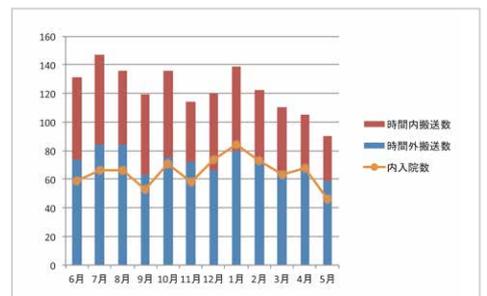
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当医表

(令和2年7月1日現在)

■受付時間 8:00~11:00

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日~1月3日



独立行政法人 国立病院機構 高知病院

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
 TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<http://www.kochihp.com>



診療科	区分・診察室番号		月	火	水	木	金
内科	午前	1診 ⑫	岩原 義人	山崎 隆志	井上 修志	篠原・竹内 (隔週)	
		特別外来 ⑪	松森(糖尿病)	岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	松森(糖尿病)
	午後	専門外来			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科		⑰	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1診 ⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	皇山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2診 ⑥		安宅 克博	近藤 圭大	町田 久典	皇山 暢生
		3診 ⑫					
午後	専門外来				禁煙外来 14:00~15:30(予約制)		
消化器内科	午前	⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代	高橋 拓	池田 敬洋
循環器内科	午前	⑦	山崎 隆志	西村 直己		山崎 隆志	
	午後	⑦			伊藤 いつみ 受付13:30~16:00	ペースメーカー (第2木曜)	
リウマチ科		⑩	松森 昭憲 (糖尿病も診察)				松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小児科	午前	1診 ①	大石 尚文	大石 尚文	井上 和男	小倉 英郎	大石 尚文
		2診 ②	佐藤 哲也	濱田 朋弥	佐藤 哲也	佐藤 哲也	高橋 芳夫
		3診 ③	井上 和男	濱本 諒	小倉由紀子	井上 和男	
	午後	専門外来	慢性疾患 アレルギー	神経・アレルギー 循環器(第2火曜 医大循環器)	乳児健診	アレルギー NICUフォローアップ	慢性疾患 乳児健診
	予防接種	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	
外科 消化器外科 小児外科	午前	⑤・⑥	浅野間 理仁	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	金本 真美 (肝臓・胆道 膵臓外来)
	午後	専門外来	浅野間 理仁 (ヘルニア外来) 受付15:00まで	福山 充俊 (乳腺外来)		福山 充俊 (乳腺外来)	
呼吸器外科	午前	⑧		先山 正二		先山 正二	先山 正二
		⑦		日野 弘之 診療開始 9:30~		日野 弘之	
乳腺科	午前	⑤	本田 純子		本田 純子		
	午後	⑧			本田 純子 受付15:30まで		本田 純子 受付15:30まで
整形外科	午前	①	福田 昇司 (予約制)		川口 真司	福田 昇司	合田有一郎
		②	川口 真司				
午後	②	骨粗鬆症 13:00~15:00(予約制)				田村 竜也 (予約制)	
脳神経外科	午前	1診 ⑧			非常勤 診療時間 9:00~11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
皮膚科	午前	⑬	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
泌尿器科	午前	1診 ⑨	島本 力 診察開始 9:00~	医大医師 診察開始 9:00~	医大医師 診察開始 9:00~		医大医師 診察開始 9:00~
		2診 ⑦					島本 力(予約制) 診察開始 9:00~10:30
産科	午前	⑳	滝川 稚也	滝川 稚也	今泉 絢貴 1ヶ月検診	今泉 絢貴	産科特殊外来(予約制)
	午後						
婦人科	午前	㉑	木下 宏実	今泉 絢貴	木下 宏実	滝川 稚也	木下 宏実
	午後			クーポンがん検診 (予約制) 10:30~11:30		クーポンがん検診 (予約制) 10:30~11:30	
眼科	午前	㉒	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前	⑯	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田
放射線科			塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中 外科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外科までお問い合わせください。
 ※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。